

決算説明会資料



株式会社日本アクア

〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-12-12
TEL:045-477-1123
FAX:045-477-1124

平成26年2月24日

目次

1. 概要
2. 特徴
3. 市場分析
4. 事業戦略
5. 決算と計画

- 
1. 概要
 2. 特徴
 3. 市場分析
 4. 事業戦略
 5. 決算と計画

会社概要

- 会社名 株式会社 日本アクア (Nippon aqua Co., Ltd.)
- 代表取締役 中村 文隆
- 本店所在地 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-12-12
- 事業内容 建築断熱用硬質ウレタンフォーム「アクアフォーム」販売・施工
住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売
- 従業員数 415人(平成25年12月末現在)
- 設立年月日 平成16年11月29日
- 資本金 17億75百万円
- 発行済株式総数 6,905,500株
- 主要株主(平成25年12月末現在、総株主数1,832名)

| 株 主 名 | 持株数 (株) | 持株比率 (%) |
|---|------------|-------------|
| 1 (株)松家ホールディングス | 3,500,000 | 50.7 |
| 2 エムエルアイバナジーカス 常任代理人メリルリンチ日本証券(株) | 1,000,000 | 14.5 |
| 3 中村文隆 | 500,000 | 7.2 |
| 4 ビーエヌワイエム エスエーエヌブイビーエーエヌワイエム 常任代理人 (株)三菱東京UFJ銀行 | 282,426 | 4.0 |
| 5 (株)SBI証券 | 138,100 | 2.0 |
| 6 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) | 121,200 | 1.8 |
| 7 日本アクア従業員持株会 | 83,800 | 1.2 |
| 8 楽天証券(株) | 81,800 | 1.2 |
| 9 日本証券金融(株) | 64,000 | 0.9 |
| 10 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) | 60,400 | 0.9 |

事業コンセプト

日本アクアは、
断熱＝省エネルギーに特化した低炭素住宅を提案します。

A. アクアフォーム

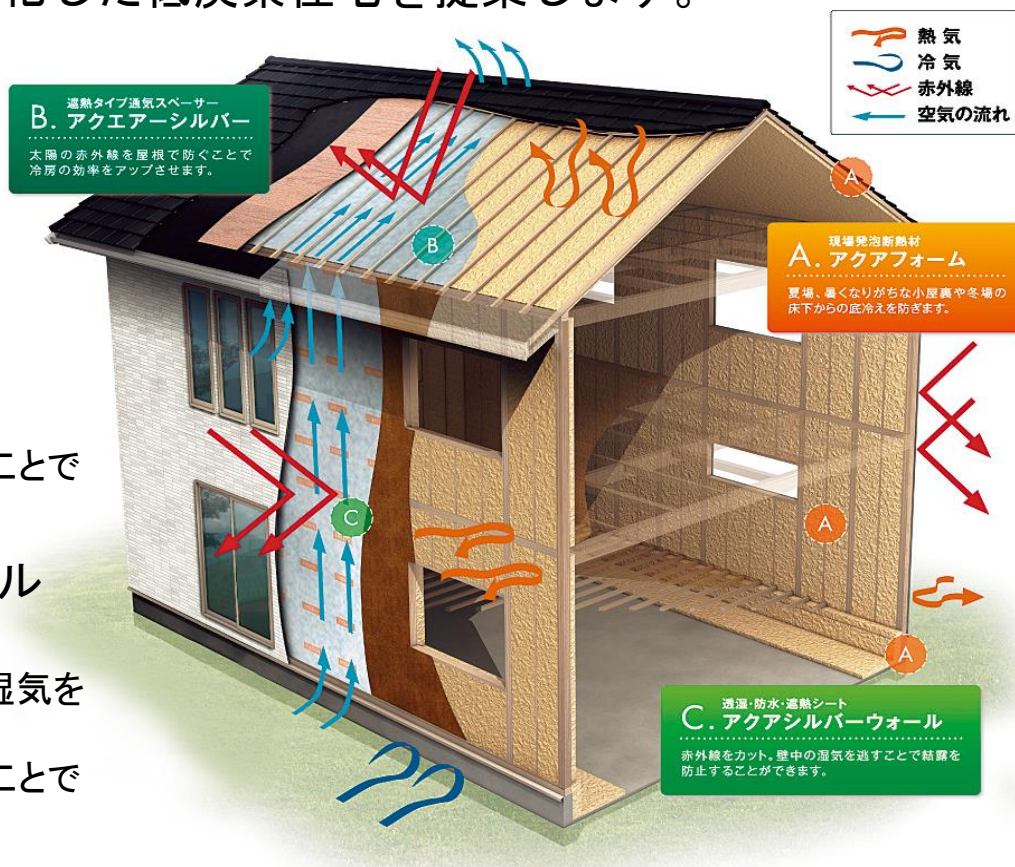
当社が提供する
断熱用ウレタンフォーム

B. アクエアーシルバ

遮熱・通気スペーサー
通気層の確保と遮熱効果
アクアフォームと併用することで
断熱効率をUP

C. アクアシルバーウォール

透湿・防水・遮熱シート
赤外線をカットし、壁中の湿気を
逃がし結露を防止
アクアフォームと併用することで
断熱効率をUP



「アクアフォーム®」とは

当社の事業の中心は、断熱材の施工、販売。その核となるのが断熱材「アクアフォーム」

「アクアフォーム」とは、断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム（JIS規格のA種3）の当社製品名です。

当社が仕様を決めて原料メーカーに生産委託しており、水を発泡剤としたノンフロンの原料を使用し、木造建築物を中心に、100倍発泡により施工現場で直接吹付け、細かな気泡により断熱します。

空気を閉じ込めた細かな気泡により断熱しますので、環境にやさしい断熱材です。

アクアフォーム施工事例



グラスウール施工事例



「アクアフォーム®」

■遮熱・断熱

[実験②] エアコンを使用せず室内表面温度を計測

夏

[撮影時間帯の平均外気温:30.1℃]

●撮影日時:2010年8月20日 13:30~15:20

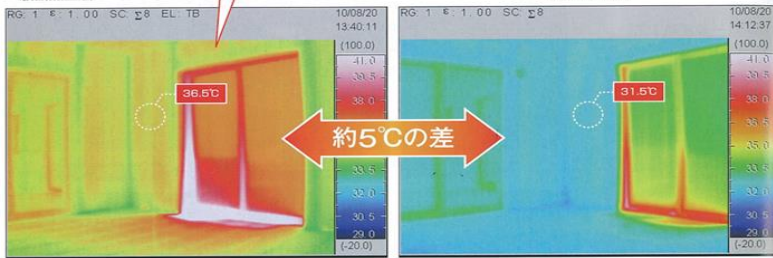
[測定場所]
1F リビング南面

!! 壁面やガラス面の表面温度の差が歴然! 熱がこもっています。



Wバリア工法
(検査住宅標準仕様)

一般断熱工法



※赤色に近いほど温度が高いことを表します。

[撮影時間帯の平均外気温:30.1℃]

●撮影日時:2010年8月20日 13:30~15:20

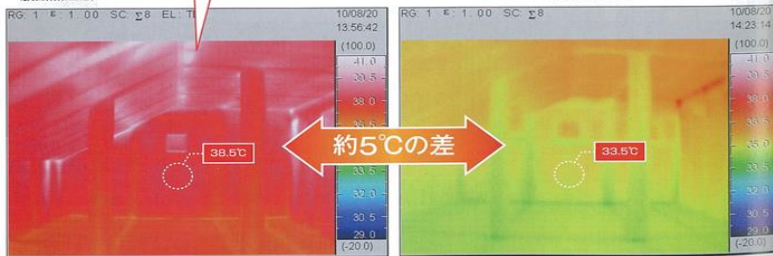
[測定場所]
小屋裏収納

!! まさにサウナ状態です!!



Wバリア工法
(検査住宅標準仕様)

一般断熱工法



※赤色に近いほど温度が高いことを表します。

快適に、そしてもっとエコに。
実物大の実験棟をつくって検証中。



断熱工法が違う全く同じ間取りの建物で、建物の「気密性」「断熱性」「遮熱性」の違いによってどれくらい室内や壁面の温度差が出るかを検証しました。夏の一番暑い時間帯での計測では、サーモグラフィの画像から、室内などの場所においても「Wバリア工法の実験棟」の方が「一般断熱工法の実験棟」よりも涼しいことがわかります。また、冬の実験では保温効果の高さが見てとれます。

[実験①] 実験棟各種計測

下の表は、30℃を超える夏の炎天下を選んで実験を行った結果です。
[計測条件] ●計測日:2010年7月28日 ●天候:晴れ ●計測時間:15時30分 ●計測条件:空調設備未使用 ●体感温度=(室温+壁表面温度)/2で算出

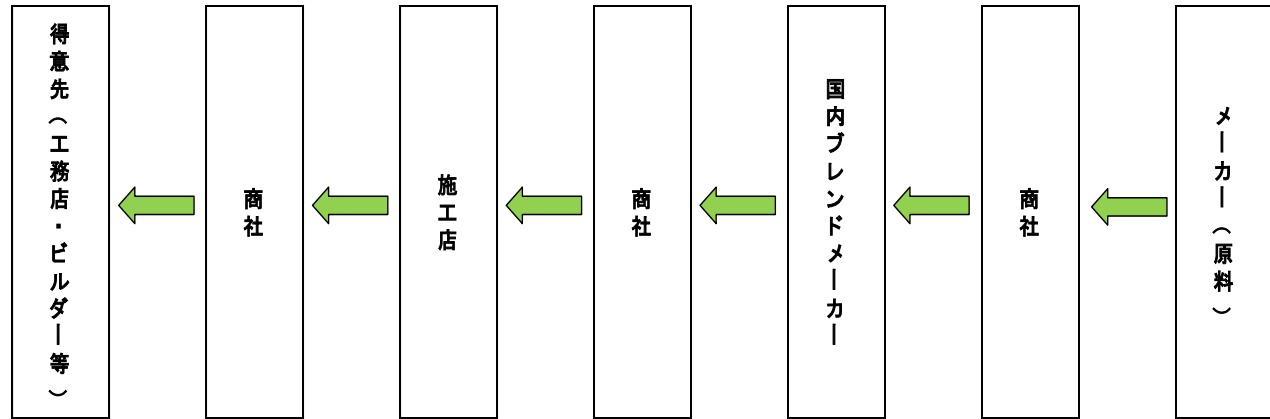
| 外気温 31℃ | 1F | | 2F | | 小屋裏 | |
|------------|------------|-------------|------------|--------------|------------|------------|
| | 一般断熱工法の実験棟 | Wバリア工法の実験棟 | 一般断熱工法の実験棟 | Wバリア工法の実験棟 | 一般断熱工法の実験棟 | Wバリア工法の実験棟 |
| 室温 | 34℃ | -4℃ 30℃ | 38℃ | 37℃ | 42℃ | -5℃ 37℃ |
| 体感温度 | 33.75℃ | 約-4℃ 30℃ | 39.5℃ | -3℃ 36.5℃ | 43℃ | -5℃ 38℃ |
| 壁表面温度 | 33.5℃ | 30℃ | 41℃ | -5℃ 36℃ | 44℃ | -5℃ 39℃ |
| サッシ表面温度 | 34.5℃ | 34℃ | 38℃ | 37℃ | — | — |

実験棟比較

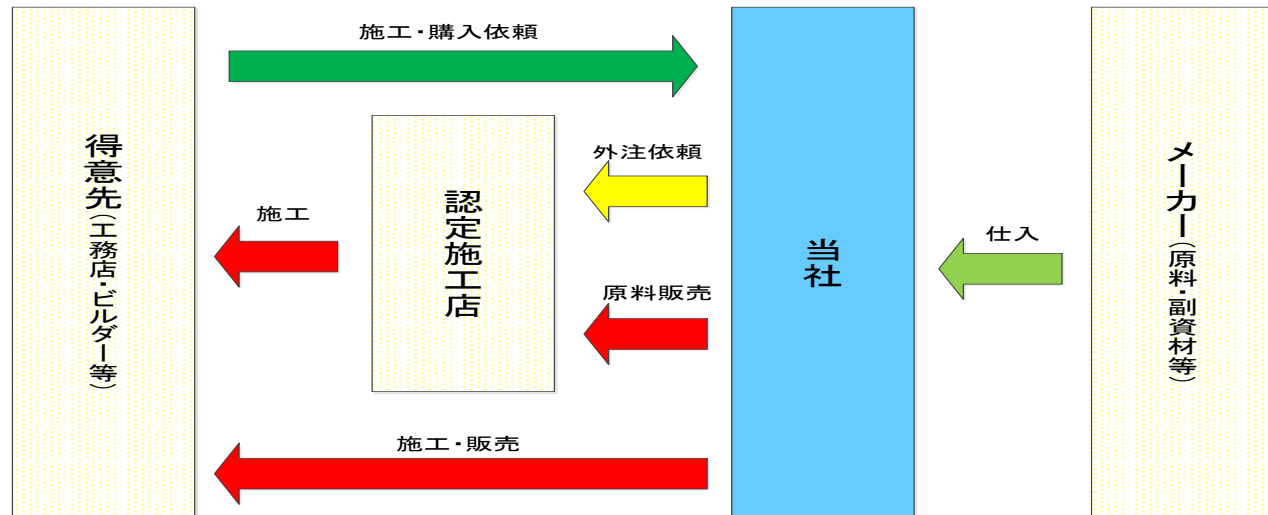
| 一般断熱工法の実験棟 | Wバリア工法の実験棟 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 天井断熱 床断熱 一般型透湿防水シート | <ul style="list-style-type: none"> 屋根断熱 基礎断熱 遮熱・透湿・防水シート 遮熱タイプ換気スベーク 透湿発泡断熱材「アクアフォーム」 (厚さ50mm・厚さ75mm・厚さ90mm) 断熱樹脂サッシ+Low-Eペアガラス |

事業の流れ

従来



当社



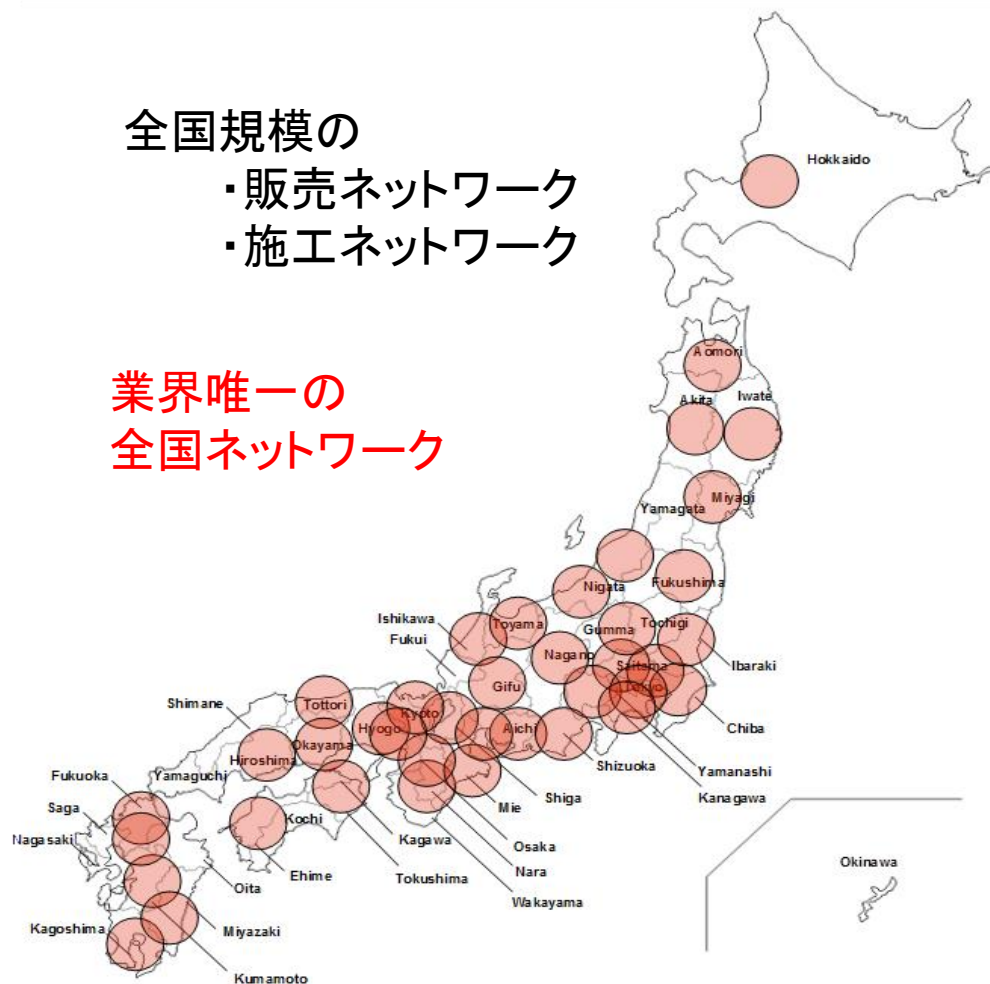
- 
1. 概要
 - 2. 特徴**
 3. 市場分析
 4. 事業戦略
 5. 決算と計画

全国ネットワーク

全国規模の

- ・販売ネットワーク
- ・施工ネットワーク

業界唯一の
全国ネットワーク



全国40営業所 (平成25年12月現在)

| エリア | 営業所 |
|-----|-------------------------|
| 北海道 | 札幌 |
| 東北 | 青森・秋田・盛岡・仙台・郡山 |
| 北陸 | 金沢・富山 |
| 上越 | 新潟・長岡 |
| 関東 | 東京・厚木・埼玉第1、第2・高崎・千葉・つくば |
| 甲信 | 山梨・長野 |
| 東海 | 静岡・名古屋・三河・岐阜・三重 |
| 近畿 | 大阪・滋賀・京都・兵庫 阪神・阪南 |
| 中国 | 岡山・広島・鳥取 |
| 四国 | 高松・松山 |
| 九州 | 福岡・鳥栖・熊本・宮崎・鹿児島 |

強力な施工体制

日本で唯一・最大の施工体制

【全国施工体制】

(1) 施工台数

全国 300台

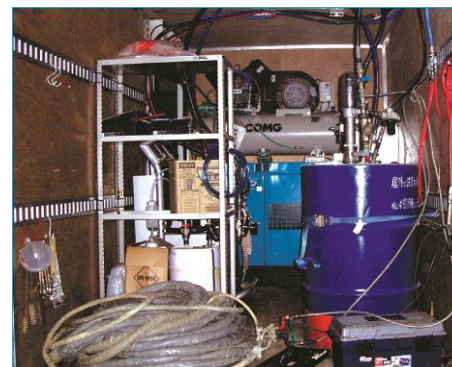
(2) 施工人員

自社工務人員 **229名**

(3) 外注施工事業者

認定施工店 **全国131社**

(12月末現在)



商品開発力 ■断熱施工用ウレタン

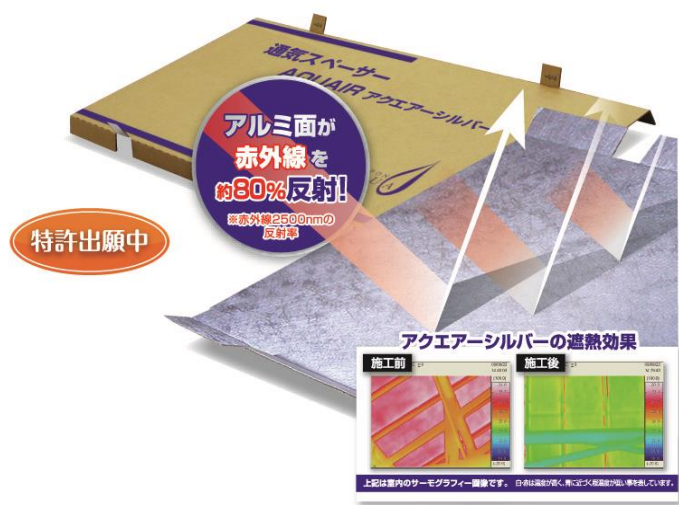
JIS規格A種3の製品、「アクアフォーム」を主力に、RC造建築物用のA種1、B種1などのウレタン原料を使った断熱施工を行います。また、オゾン破壊係数がゼロで温暖化係数の低い「アクアフォームNEO」を開発いたしました。

■取り扱い断熱施工用ウレタン原料

| ウレタン原料種類 (JIS規格区分) | 施工対象 | 発泡剤 | 発泡倍率 | 原料仕入先 |
|-----------------------|---------------|-----------------|------|-----------------------|
| A種3 アクアフォーム® | 木造住宅 | ノンフロン | 100倍 | ハンツマン バイエル 三菱樹脂 |
| A種1 アクアフォーム® RC用 | 建築物分野 | ノンフロン | 30倍 | ハンツマン 旭有機材 |
| アクアフォームNEO | 木造住宅 建築物分野 | グリーンガス (HFO) | 30倍 | 三菱樹脂 |

商品開発力 ■遮熱シート等、副資材

アクエアーシルバー



アクアシルバーウォールW



アクアスルー



アクアパッキン



- 
1. 概要
 2. 特徴
 - 3. 市場分析**
 4. 事業戦略
 5. 決算と計画

新規住宅着工

【新築着工戸数の推移及び予測】

(単位:戸)

| 年度 | 総数 | | | 木造 | | | RC造 | | | 当社施工戸数 | | |
|----------|---------|--------|--------|---------|-------|--------|---------|-------|--------|--------|-------|--------|
| | 戸数 | 構成比 | 前年比 | 戸数 | 構成比 | 前年比 | 戸数 | 構成比 | 前年比 | 木造 | RC造 | 合計 |
| 平成23年 | 834,137 | 100.0% | 102.6% | 464,837 | 55.7% | 100.2% | 369,300 | 44.3% | 105.8% | 15,575 | — | 15,575 |
| 平成24年 | 882,797 | 100.0% | 105.8% | 486,756 | 55.1% | 104.7% | 396,041 | 44.9% | 107.2% | 19,535 | 198 | 19,733 |
| 平成25年 | 980,025 | 100.0% | 111.0% | 549,971 | 56.1% | 113.0% | 430,054 | 43.9% | 108.6% | 28,062 | 1,249 | 29,311 |
| 平成26年(予) | 892,000 | 100.0% | 91.0% | 500,573 | 56.1% | 91.0% | 391,427 | 43.9% | 91.0% | | | |
| 平成27年(予) | 864,000 | 100.0% | 96.9% | 484,860 | 56.1% | 96.9% | 379,140 | 43.9% | 96.9% | | | |

※実績は国土交通省発表資料によります。

※予測は第一生命経済研究所資料によります。

※実績は年統計、予測は年度統計となります。

※平成26年、27年の木造、RC造予測は当社予測によります。

市場規模とシェア

【平成25年商材毎の市場規模予測】

(1) 木造建物用断熱材

550,000百万円

※国土交通省資料に基づき、当社にて試算

(2) 建築物用断熱材 (木造以外RC・S造)

360,000百万円

※矢野経・国交省資料より、当社試算

合計市場規模

910,000百万円

【当社の商材毎の市場シェア】 シェア 拡大

(1) 木造建物用断熱材(アクアフォーム)

① 新築棟数全体にかかる当社のシェア

5.1% (平成25年度・当社試算)

② 新築棟数中現場発泡ウレタン市場 にかかる当社のシェア

70.0% (平成25年度・当社試算)

(2) 建築物用断熱材

(木造以外RC・S造) 拡大

平成24年中期よりサービスインしたため、
シェアは殆どありません。

- 
1. 概要
 2. 特徴
 3. 市場分析
 - 4. 事業戦略**
 5. 決算と計画

販売戦略

(1) 建築物市場の取り組み強化

① 建築事業部による市場開拓

個別案件対応(リテール) + 全社対応(ホールセール)

② 自社施工の建築物施工への特化

ゼネコン等の顧客ニーズに細かく対応するため、
自社施工を建築物の施工へ特化

(2) 戸建木造住宅施工の市場シェアの拡大

① 認定施工店・協力事業者の拡大と関係強化し、施工能力の拡大

② オプション採用から標準採用へ

③ コスト削減により価格競争力を強化し、市場拡大へ

※ガラスウールからアクアフォームへの転換を促進

ネットワーク戦略

・ハブ&スポーク型ネットワーク構築による情報と物流の効率化

(1) ハブ(基幹営業所)の整備・立ち上げ

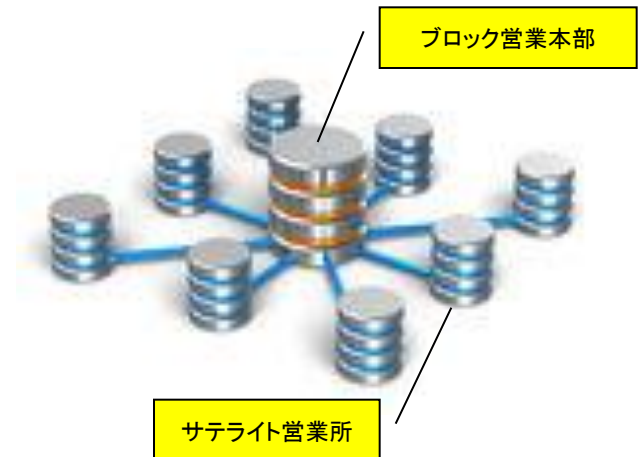
関東、中部、関西、中四国、九州ブロックで構築

- ① ブロック営業本部機能(情報分析・戦術決定)
- ② 物流拠点(デポ)
- ③ 工務部隊の研修施設

(2) スポーク(サテライト営業所)の充実

- ① 営業活動の拠点(情報収集・販売促進・契約)
- ② 戦術実践(展示会等)
- ③ 工務部隊の常駐施設

**※物流を効率化し、物流コストを軽減
為替変動に伴う原料価格高騰の影響も抑制**



ハブ＝基幹営業所



社員用 休憩室



工務社員用 シャワー室



技術力の強化

・人材の強化→ウレタン事業多様化への対応

ウレタンの専門家の招へい

大久保 正一 氏（3月27日株主総会承認により取締役就任予定）

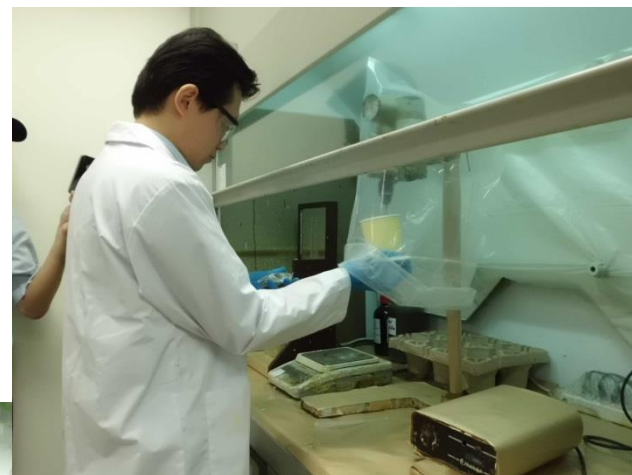
【略歴】

| | | |
|----------|---|-------------------------------|
| 昭和45年4月 | 三菱化成工業(株)総合研究所入社 | 三菱化成工業(株)入社以来、一貫してポリウレタン事業に従事 |
| 昭和54年4月 | 建設省建築研究所出向 | 1. ポリウレタンの基礎研究 10年 |
| 昭和55年10月 | 化成アップジョン(株)研究所 | 2. ポリウレタンフォームの商品開発(主に断熱材) 24年 |
| 平成10年4月 | 三菱化学(株)中間体事業部 材料工学研究所 主任研究員 | 3. ポリウレタンシステム事業の責任者 10年 |
| 平成20年4月 | 三菱樹脂(株)複合材事業部 ウレタンシステムグループ グループマネージャー | |
| | ウレタン原料工業会 理事(現任) | |
| 平成24年4月 | 同社 複合材事業部開発営業グループ ウレタンチーム長(現任) | |

テクニカルセンター

・テクニカルセンターの設置

- (1) 平成26年3月、横浜市に開設
- (2) アクアフォーム・新商品の品質管理
新技術への対応



中期販売戦略(商品戦略)

- ・既存の当社のネットワークを通して、断熱施工にリンクした商品ラインアップの拡大を図ります

①接着剤事業



②防火コート事業



③防水事業



- 
1. 概要
 2. 特徴
 3. 市場分析
 4. 事業戦略
 5. 決算と計画

平成25年12月期決算の概要

売上高・・・9,825百万円(前期比51.4%増)

断熱材の需要増に対応した安定的な供給体制を作る為、
営業所積極展開(28か所→40か所)、従業員増(298名→415名)

利益・・・経常利益925百万円(前期比39.8%増)
純利益512百万円(前期比40.3%増)

設備投資(343百万円)、減価償却(167百万円)、
人員増によるコストアップ、上場費用等を吸収

財務キャッシュフロー・・・増資により3,510百万円増
ハンツマン社等第三者割当増資770百万円
上場による公募増資等2,740百万円

平成25年12月期の決算の状況

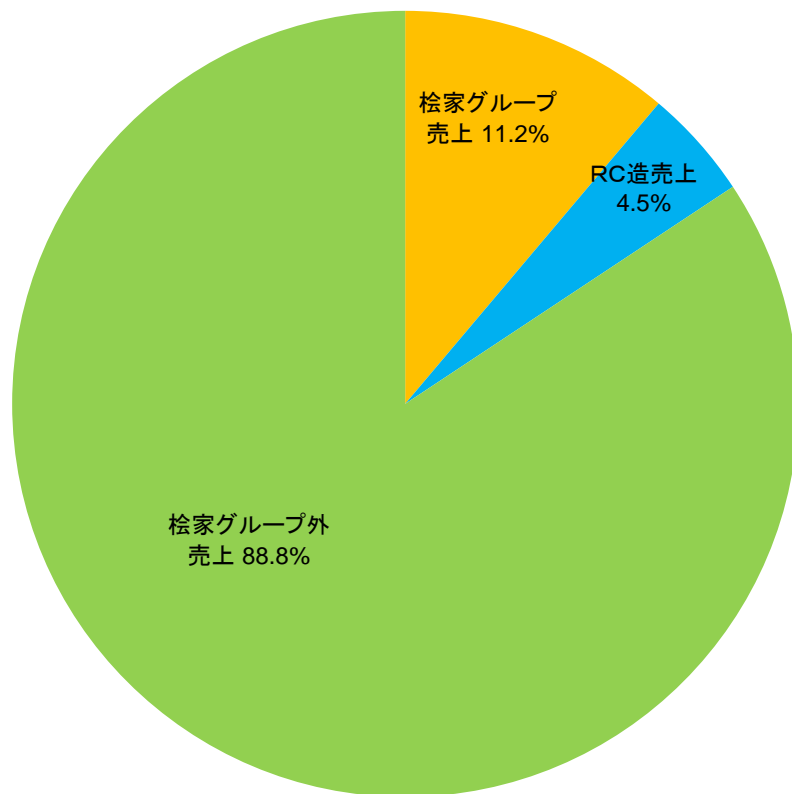
| | 平成25年12月期実績 (千円) | 前年同期比 (%) | 平成24年12月期実績 (千円) |
|--------------|---------------------|--------------|---------------------|
| 売上高 | 9,825,273 | 151.4 | 6,488,831 |
| 戸建住宅向け断熱材 | 8,044,632 | 138.0 | 5,830,567 |
| 建築物向け断熱材 | 883,514 | 200.7 | 440,168 |
| 商品販売 | 897,126 | 411.3 | 218,095 |
| 売上原価 | 7,380,388 | 161.0 | 4,584,370 |
| 売上総利益 | 2,444,885 | 128.4 | 1,904,461 |
| (売上総利益率) | (24.9%) | | (29.3%) |
| 販売費及び一般管理費 | 1,488,538 | 119.9 | 1,241,610 |
| 営業利益 | 956,347 | 144.3 | 662,850 |
| (営業利益率) | (9.7%) | | (10.2%) |
| 経常利益 | 925,629 | 139.8 | 662,252 |
| (経常利益率) | (9.4%) | | (10.2%) |
| 当期純利益 | 512,095 | 140.3 | 364,955 |
| (当期純利益率) | (5.2%) | | (5.6%) |

エリア別販売の状況

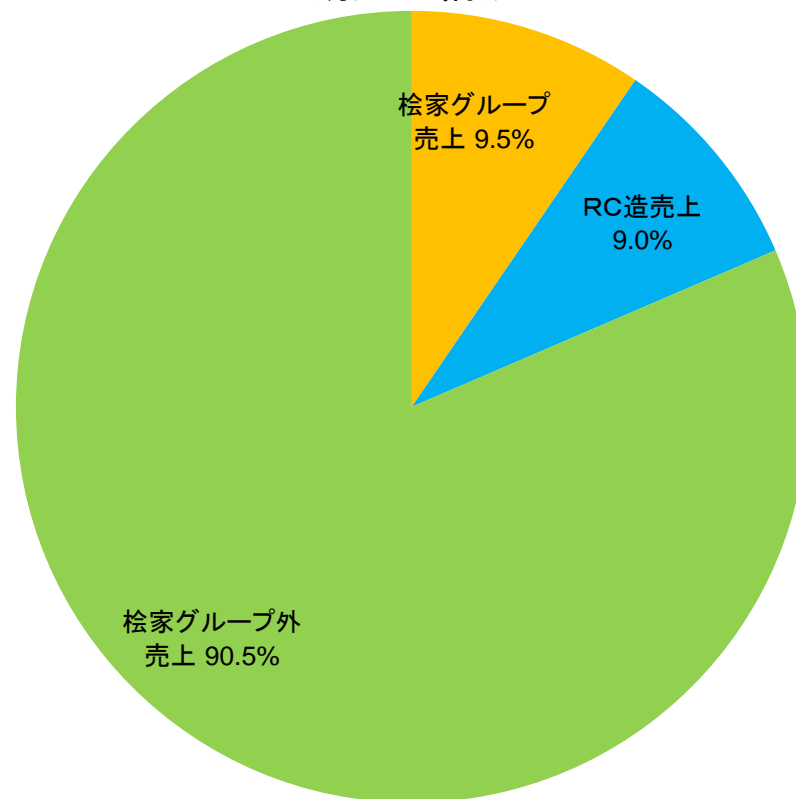
| 地 域 | 平成25年12月期 | | 平成24年12月期 |
|----------|-----------|----------|-----------|
| | 販売高(千円) | 前年同期比(%) | 販売高(千円) |
| 北海道ブロック | 40,502 | 1,193.0 | 3,395 |
| 東北ブロック | 812,500 | 191.8 | 423,633 |
| 関東ブロック | 2,880,021 | 134.7 | 2,138,601 |
| 北信越ブロック | 962,701 | 134.2 | 717,247 |
| 東海ブロック | 1,328,709 | 171.5 | 774,934 |
| 近畿ブロック | 1,763,323 | 139.8 | 1,260,979 |
| 中国四国ブロック | 976,641 | 165.0 | 591,908 |
| 九州ブロック | 1,060,873 | 183.5 | 578,131 |
| 合 計 | 9,825,273 | 151.4 | 6,488,831 |

取引先カテゴリー

H24/12期売上構成



H25/12期売上構成



平成26年12月期の予算計画

| | 平成26年12月期予算 (千円) | 前年同期比 (%) | 平成25年12月期実績 (千円) |
|--------------|---------------------|--------------|---------------------|
| 売上高 | 13,025,328 | 132.6 | 9,825,273 |
| 戸建住宅向け断熱材 | 8,008,000 | 99.5 | 8,044,632 |
| 建築物向け断熱材 | 4,000,640 | 452.8 | 883,514 |
| 商品販売 | 1,016,688 | 113.3 | 897,126 |
| 売上原価 | 9,696,146 | 131.4 | 7,380,388 |
| 売上総利益 | 3,329,182 | 136.2 | 2,444,885 |
| (売上総利益率) | (25.6%) | | (24.9%) |
| 販売費及び一般管理費 | 1,988,118 | 133.6 | 1,488,538 |
| 営業利益 | 1,341,064 | 140.2 | 956,347 |
| (営業利益率) | (10.3%) | | (9.7%) |
| 経常利益 | 1,333,864 | 144.1 | 925,629 |
| (経常利益率) | (10.2%) | | (9.4%) |
| 当期純利益 | 817,783 | 159.7 | 512,095 |
| (当期純利益率) | (6.3%) | | (5.2%) |

平成26年12月期の計画

設備投資計画・・・1,336百万円(前期343百万円)

土地取得・・・515百万円

建物建築・・・663百万円

システム・・・58百万円

車両機械等・100百万円

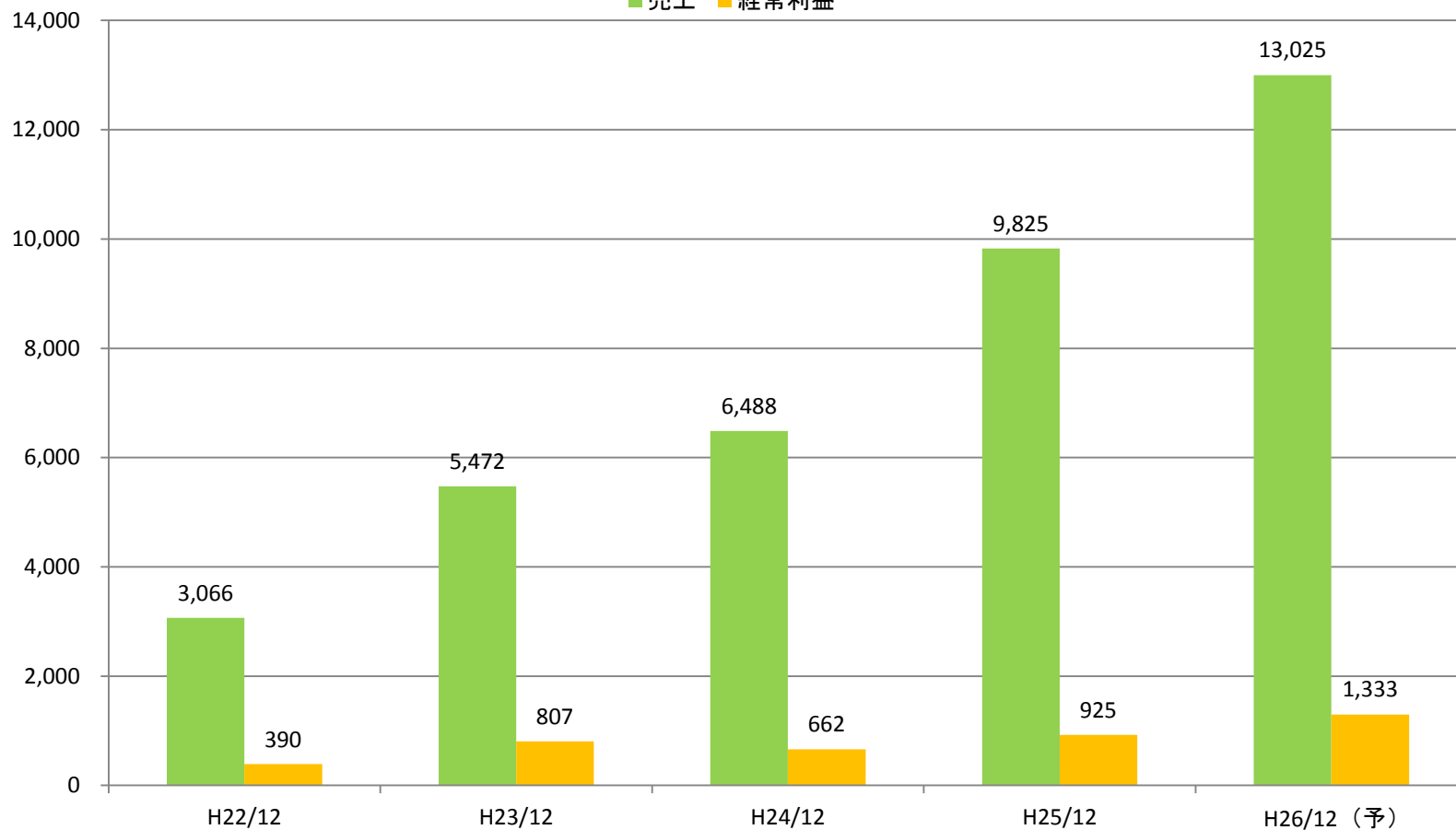
減価償却計画・・・244百万円(前期167百万円)


人員計画・・・435名(前期415名・20名増)

業績の推移

(単位:百万円)

■ 売上 ■ 経常利益





(注)本資料の計画や業績予想等の将来見通しは、現時点において当社が合理的であると判断する一定の前提に基づくものです。実際の業績等は当社を取り巻く経済情勢・需要動向等の変化等様々な要因により大きく異なる可能性があります。